

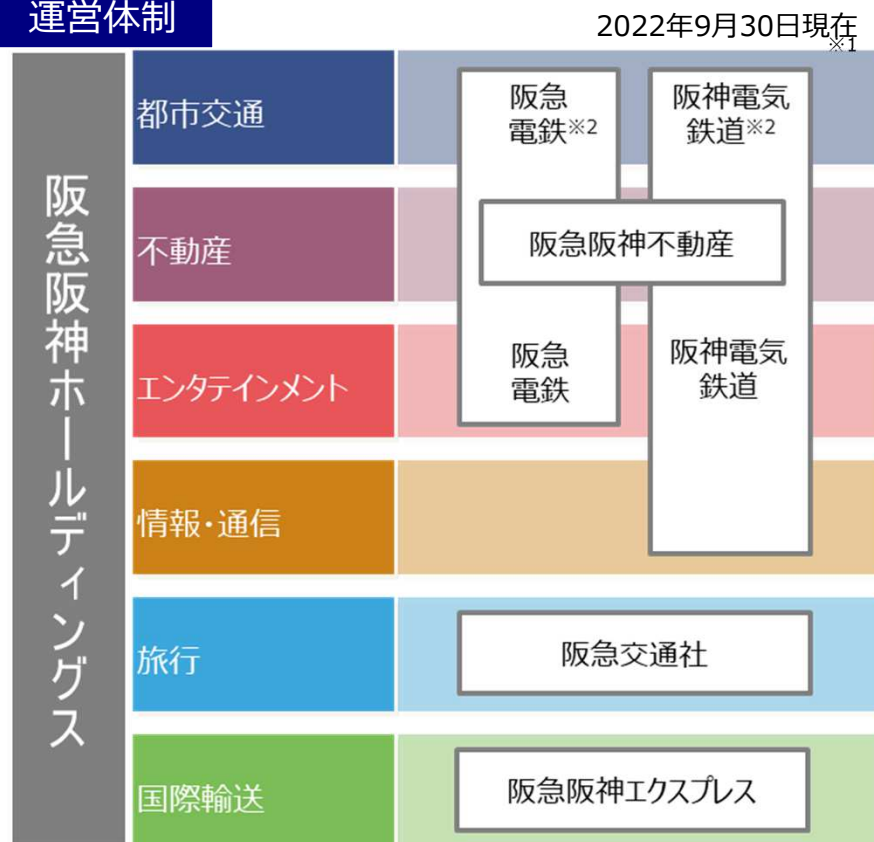
# 阪急阪神ホールディングスグループの カーボンニュートラルへ向けた取組



# 阪急阪神ホールディングスグループについて

中核5社が6つのコア事業を推進する  
企業グループ

## 運営体制



グループ売上高： 7,462億円 (2022年3月期)

グループ従業員数： 22,869人

(2022年3月31日時点)

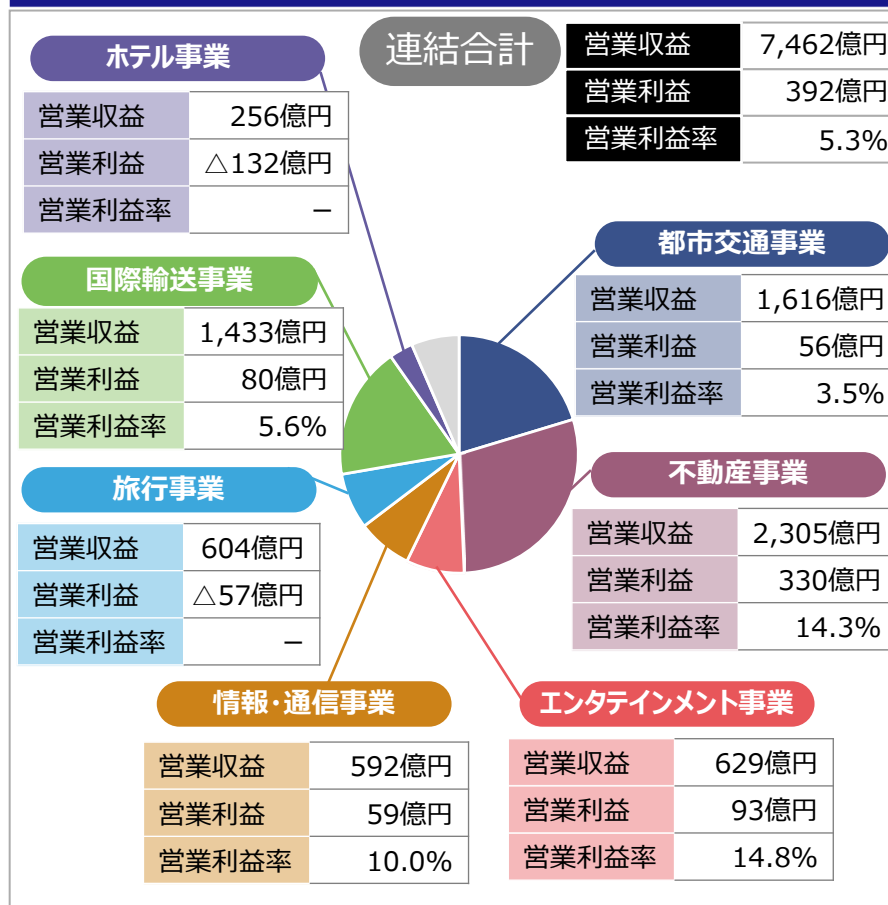
グループ会社数： 109社5団体 (同上)

創立： 1907年10月

## 収益構造

- 都市交通事業、不動産事業の2事業で  
営業収益の約5割を占める  
(2018年度実績では、2事業で  
営業収益の約6割、営業利益の約8割を占める)

## 営業収益構成 (2021年度連結ベース)



## 阪急阪神ホールディングスグループについて

- **都市交通**：鉄道、バス、タクシー、流通、交通広告 等
- **不動産**：不動産開発・賃貸（オフィス・商業施設運営）分譲、海外事業、ホテル 等
- **エンタテインメント・コミュニケーション**：プロ野球球団・野球場運営、劇団・劇場運営、ライブハウス・レジャー施設運営 等
- **情報・通信**：システム開発、ケーブルテレビ放送・通信、あんしん・教育サービス 等
- **旅行**：旅行事業 等
- **国際輸送**：国際貨物輸送 等
- **その他**：建設、造園、カード事業等



Geo  
ジオ

ミュージアムステーション  
Hankyu - San Bangai  
阪急三番街



眠りをデザインするホテル「レム」

レム



THE RITZ-CARLTON®  
OSAKA



DAI-ICHI HOTEL  
TOKYO



billboard  
LIVE

Baycom  
ベイコム



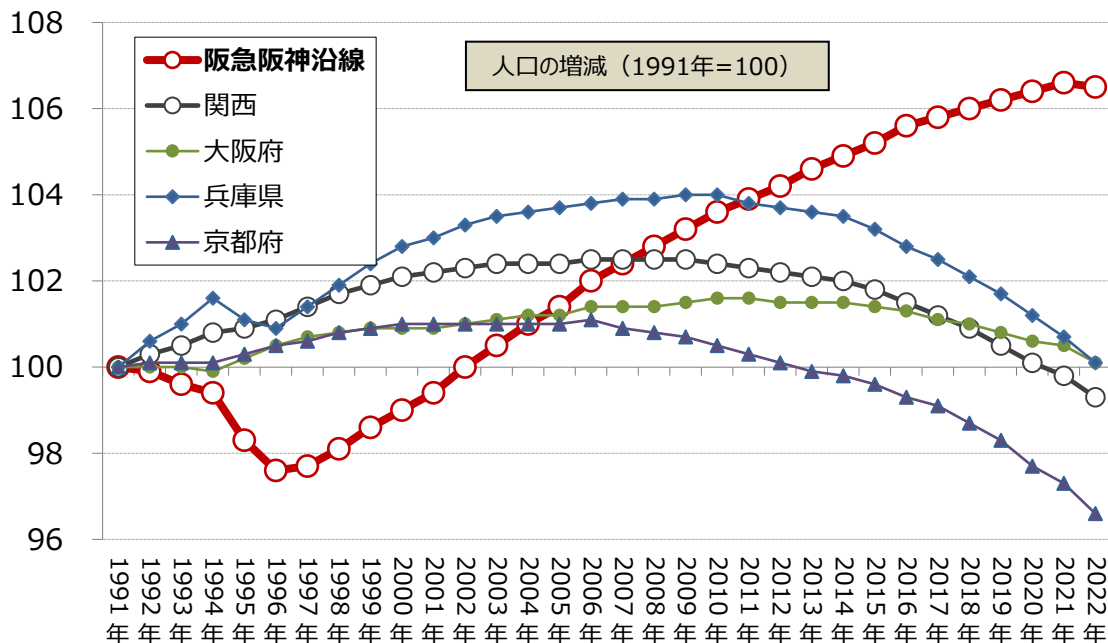
HANKYU HANSHIN  
EXPRESS



# 阪急・阪神沿線の特徴

## 人口推移

出所) 地域経済総覧(東洋経済)より、  
住民基本台帳人口、2022年1月1日現在



	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (千人)
阪急・阪神沿線	1,318	5,635
大阪府 (沿線)	449	2,718
兵庫県 (沿線)	471	2,255
京都府 (沿線)	398	661
阪急・阪神沿線外	26,033	14,387
大阪府 (沿線外)	1,456	5,839
兵庫県 (沿線外)	7,930	3,123
京都府 (沿線外)	4,214	1,793
滋賀県	4,017	1,383
奈良県	3,691	1,322
和歌山県	4,725	928
合計	27,351	20,022

## 住んでみたい街アンケート (関西圏)

出所) MAJOR 7 (住友不動産他7社)  
による調査 (2022年10月6日)

順位	地名 (所在)	順位	地名 (所在)
1	大阪梅田駅・大阪駅 (大阪市北区)	11	本町駅 (大阪市中央区)
2	西宮北口駅 (兵庫県西宮市)	12	神戸三宮駅・三ノ宮駅 (神戸市中央区)
3	夙川駅 (兵庫県西宮市)	13	天王寺駅 (大阪市天王寺区)
4	岡本駅 (神戸市東灘区)	14	芦屋川駅 (兵庫県芦屋市)
5	宝塚駅 (兵庫県宝塚市)	15	淀屋橋駅 (大阪市中央区)
6	千里中央駅 (大阪府豊中市)	16	北浜駅 (大阪市中央区)
7	御影駅(阪急) (神戸市東灘区)	17	豊中駅 (大阪府豊中市)
8	高槻駅・高槻市駅 (大阪府高槻市)	18	京都駅 (京都市下京区)
9	芦屋駅 (兵庫県芦屋市)	19	谷町6丁目駅 (大阪市中央区)
10	烏丸御池駅 (京都市中京区)	20	福島駅 (大阪市福島区)

阪急・阪神沿線 : 阪急電鉄、阪神電気鉄道の駅のある次の地域とする(第2種鉄道事業を含む)。

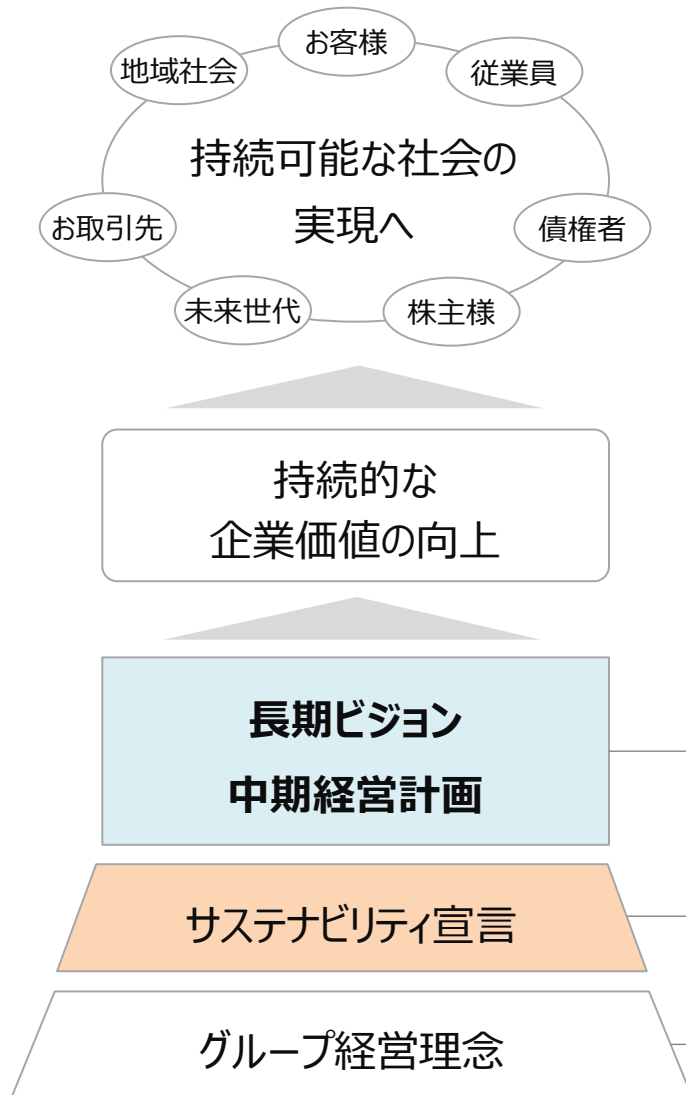
大阪府: 大阪市(24区のうち福島区、此花区、西区、浪速区、西淀川区、東淀川区、淀川区、北区、中央区)、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町

兵庫県: 神戸市(9区のうち東灘区、灘区、兵庫区、長田区、中央区)、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市

京都府: 京都市(11区のうち中京区、下京区、右京区、西京区)、向日市、長岡京市、大山崎町

ランキング上位20のうち、13が当社グループの沿線である。

# 経営計画体系



**当社グループの持続的な企業価値の向上に向けたビジョン・戦略及びそれを実現するための具体的な実行計画**

## **長期ビジョン**

グループが目指す姿及びその実現に向けた戦略

## **中期経営計画**

長期ビジョンの実現に向けて、中期的な取組を反映した具体的な実行計画

**当社グループが持続的成長を目指していくにあたり、ベース（基盤・前提）となるもの**

## **基本方針**

～暮らしを支える「安心・快適」、  
暮らしを彩る「夢・感動」を、未来へ～

**社会における当社グループの存在意義**

## **使命**

「安心・快適」、そして「夢・感動」をお届けすることで、  
お客様の喜びを実現し、社会に貢献します。

# 「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」

## サステナビリティ宣言（基本方針）

当社グループがサステナブル経営を進める上で、目指す社会を描いた宣言文

### ～ 暮らしを支える「安心・快適」、暮らしを彩る「夢・感動」を、未来へ ～

私たちは、100年以上積み重ねてきた「まちづくり」・「ひとづくり」を未来へつなぎ、  
地球環境をはじめとする社会課題の解決に主体的に関わりながら、  
すべての人々が豊かさ喜びを実感でき、  
次世代が夢を持って成長できる社会の実現に貢献します。

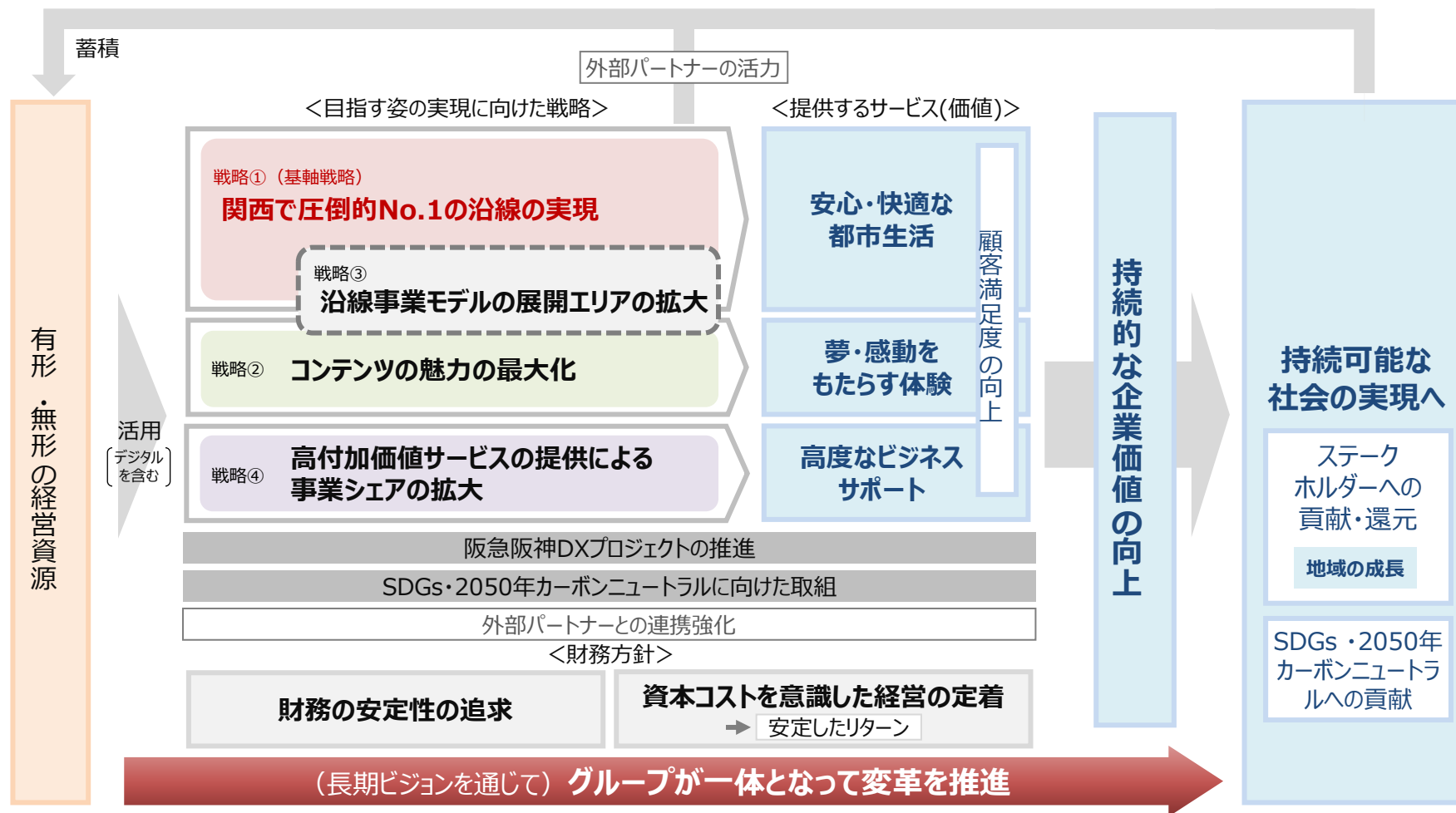
## 重要テーマ(マテリアリティ)

当社グループがサステナブル経営を進める上で、重きを置く6つのテーマ

テーマ	取組方針
 <b>安全・安心の追求</b> 	鉄道をはじめ、安全で災害に強いインフラの構築を目指すとともに、誰もが安心して利用できる施設・サービスを日々追求していきます。
 <b>豊かなまちづくり</b> 	自然や文化と共に、人々がいきいきと集い・働き・住み続けたいくなるまちづくりを進めます。
 <b>未来へつながる暮らしの提案</b> 	未来志向のライフスタイルを提案し、日々の暮らしに快適さと感動を創出します。
 <b>一人ひとりの活躍</b> 	多様な個性や能力を最大限に発揮できる企業風土を醸成するとともに、広く社会の次世代の育成にも取り組みます。
 <b>環境保全の推進</b> 	脱炭素社会や循環型社会に資する環境保全活動を推進します。
 <b>ガバナンスの充実</b> 	すべてのステークホルダーの期待に応え、誠実で公正なガバナンスを徹底します。

# 長期ビジョンの全体像

## 価値創造プロセス



## 2030年度における経営目標（財務指標・非財務指標）

### <財務指標>

収益性	営業利益	<b>1,300億円 + α</b>
財務健全性	有利子負債/EBITDA倍率	<b>5倍台</b>
資本効率	ROE	<b>中長期的に7%水準</b>

### <非財務指標>

CO2排出量の削減率 (2013年度比) <b>△46%</b>	従業員満足度の <b>継続的向上</b>
鉄道事業における有責事故 <b>ゼロ</b>	女性管理職比率 <b>10%程度</b>
	女性新規採用者比率 <b>30%以上を継続</b>

# SDGs・2050年カーボンニュートラルに向けた取組

## <環境保全の推進（2050年カーボンニュートラルに向けた目標の見直し及び基本的な取組方針）>



- 2050年のカーボンニュートラルに向けて、**政府の2030年度温室効果ガスの削減目標が、2013年度比△26%から△46%まで引き上げられたことから、当社グループのCO2排出量の削減目標を政府目標と整合した目標値に見直す。**

### CO2排出量の削減率（対象範囲：当社及び子会社の国内事業所）

2030年度  
目標

2013年度比  
△46%

2050年度  
目標

**実質ゼロ**

- エネルギー使用量の削減に向けて、財務の健全性と投資効率をみながら、省エネの着実な推進に取り組むとともに、技術革新の動向をみながら、事業採算性が合うのであれば、創エネ（再エネ発電設備等の導入）の検討も進めていく。

## <一人ひとりの活躍（働きがいの向上やダイバーシティの推進に向けた取組の方向性）>



- 当社グループが持続的に企業価値を向上させていくには、その源泉である人材を最大限に活かすことが不可欠であり、従業員一人ひとりが多様な個性や能力を発揮できる企業風土を醸成していく必要がある。
- 当社グループでは、その醸成に向けて、ダイバーシティ&インクルージョンを意識しながら、働きがいの向上や労働環境の整備を図っていくとともに、健康経営やダイバーシティの推進に取り組んでいく。
- そして、こうした取組を通じ2030年度に向けて、**従業員満足度の継続的向上、女性管理職比率10%程度、女性新規採用者比率30%以上を継続**、をそれぞれ目指していく。

## <非財務指標（2030年度目標）>

CO2排出量の削減率（2013年度比） <b>△46%</b>	従業員満足度の <b>継続的向上</b>
	女性管理職比率 <b>10%程度</b>
鉄道事業における有責事故 <b>ゼロ</b>	女性新規採用者比率 <b>30%以上を継続</b>





# 重要テーマ「環境保全の推進」



## 【脱炭素社会や循環型社会に資する取組例】

CO2など温室効果ガスの排出量の削減、エネルギー効率の改善（省エネの推進）

- ・鉄道事業における省エネ車両の導入促進
- ・賃貸ビルにおける省エネ設備の導入促進
- ・駅舎・車内・劇場等のLED化の推進 など



宝塚大劇場ロビー

再生可能エネルギー（太陽光発電など）の活用

- ・太陽光発電設備を設置  
【設置施設】 阪神甲子園球場、摂津市駅（阪急）、大石駅（阪神）、HEPファイブなど

廃棄物発生を抑止及びリサイクルの推進

- ・阪神甲子園球場内で販売する飲料カップのリサイクルを推進
- ・ホテル事業において使い捨てプラスチックアイテムの削減を推進（ストローなどの素材の切替）



植物由来の樹脂を用いたストロー

環境配慮型建物（グリーンビルディング）の拡大

- ・新築するオフィス・商業用途の大型ビルでDBJグリーンビルディングの認証※の取得を推進
- ・2021年8月、神戸三宮阪急ビルが3つ星を取得



神戸三宮阪急ビル



【その他の取得ビル】

阪急西宮ガーデンズ（5つ星）、HEPファイブ（4つ星）、大阪梅田ツインタワーズ・サウス（5つ星）

※ 環境・社会への配慮が優れた不動産（グリーンビルディング）を対象に、日本政策投資銀行が5段階の評価ランク（1つ星から5つ星）の認証を行うもの

# グループ社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」

阪急阪神ホールディングスグループ全体で、さらなる社会・地域への貢献活動を推進するため、2009年4月より開始したグループ横断の社会貢献プロジェクト



シンボルマーク

## 【基本方針】

阪急阪神沿線を中心に、  
私たち一人ひとりが関わる地域において、  
**「未来にわたり住みたいまち」**を  
つくることを目指します。

## 【重点領域】

### 「地域環境づくり」

地域コミュニティが  
安全・安心かつ文化的で、  
環境に配慮しながら  
発展する  
持続可能なまちづくり

### 「次世代の育成」

未来の地域社会を担う  
こども達が、  
夢を持って  
健やかに成長する  
機会を創出

## 【3つの協働】

①  
グループ各社の  
社会貢献活動の  
認定・促進制度  
＜グループ企業＞

②  
「未来のゆめ・まち基金」  
による市民団体支援  
＜地域社会(NPO等)＞

③  
従業員・OBの  
ボランティア応援  
＜従業員＞

# 《参考》SDGsトレインの運行

「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」の10周年を機に、以下の取組を実施している。

## ■「SDGsトレイン 未来のゆめ・まち号」の運行(2019年度～)

- SDGsの意義を広く伝える特別企画列車(阪急3編成・阪神1編成)を運行
  - (1) 当社グループのほか、国連、外務省・環境省、沿線自治体、SDGsの取組に積極的な企業、市民団体等が、全ての車内広告スペースを利用して約200種類のポスターを掲出するとともに、SDGsをテーマにしたヘッドマークや車両外観のラッピングにより、SDGsの達成に向けたメッセージを発信
  - (2) 実質的に再生可能エネルギー100%で同列車を運行
  - (3) SDGsの機運をより高めるため、大阪・関西万博の開催が予定されている2025年度まで運行を継続する予定
- 2020年9月からは、この取組を東急グループとともに推進しており、両社グループが協働して東西それぞれの路線で特別企画列車を運行している。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



運行中の「SDGsトレイン 未来のゆめ・まち号」



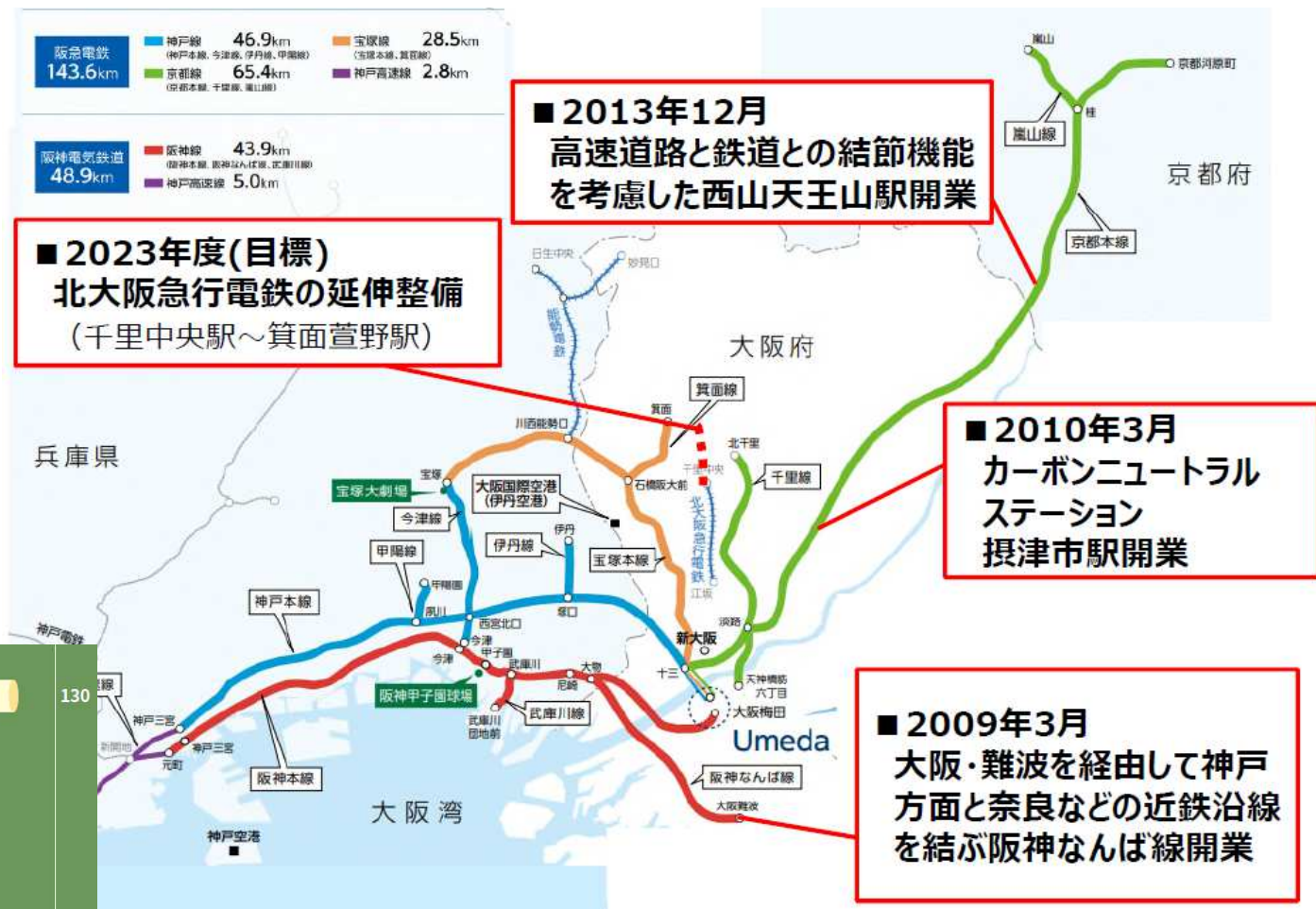
2020年12月に首相官邸で行われた「ジャパンSDGsアワード」授賞式

- 2019年度に『第17回企業フィランソロピー大賞』の企業フィランソロピー賞《未来への道しるべ賞》を受賞  
(主催：公益社団法人日本フィランソロピー協会)
- 2020年度に第4回『ジャパンSDGsアワード』において、特別賞「SDGs パートナシップ賞」を受賞 (主催：日本政府のSDGs推進本部)

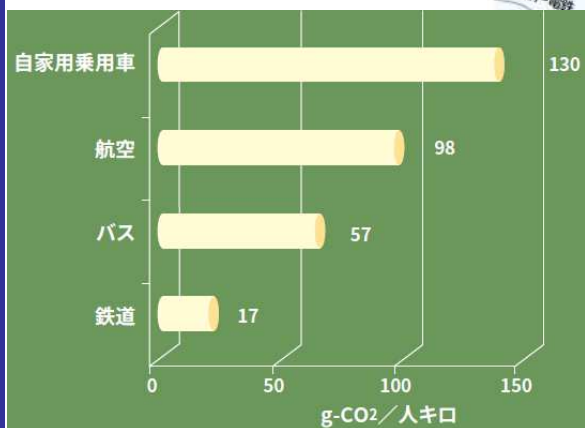


# 公共交通ネットワークの拡大を通じた脱炭素社会への貢献

・環境負荷の低い公共交通の利便性を向上することで、社会全体のCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献できると考えている。鉄道ネットワークの充実に努めるとともに、バス・タクシーに加え、レンタサイクルや駐輪場など自転車の利用環境の充実などを通じて、「駅まで」や「駅から」の交通手段をより便利にし、公共交通を軸とした環境負荷の低い交通ネットワーク形成に取り組んでいる。

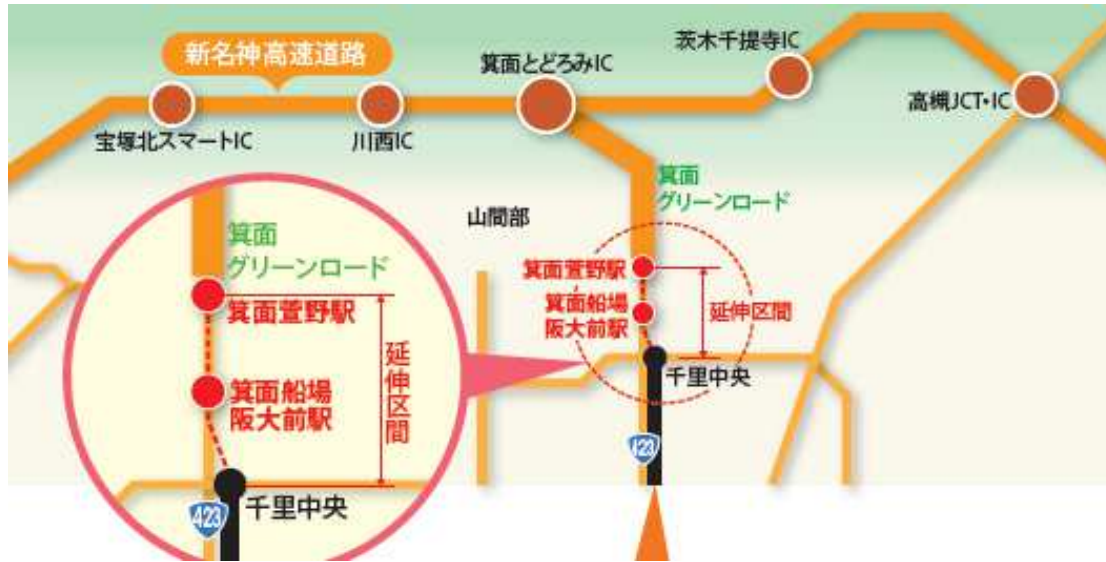


輸送量当たりのCO<sub>2</sub>排出量 (2019年度・旅客) 国土交通省ウェブサイトより

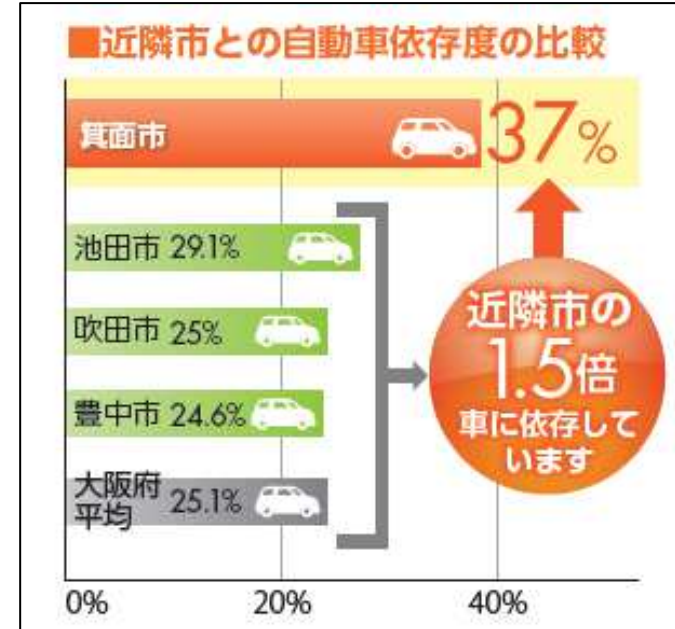


# 北大阪急行線の延伸によるCO<sub>2</sub>排出削減貢献量

- ・駅までの徒歩・自転車圏の拡大、バス路線の再編による利便性向上、広域パーク＆ライドの促進による北大阪全体（新御堂筋線）の交通渋滞緩和、関西北部から空港へのアクセス向上等の効果を見込む。

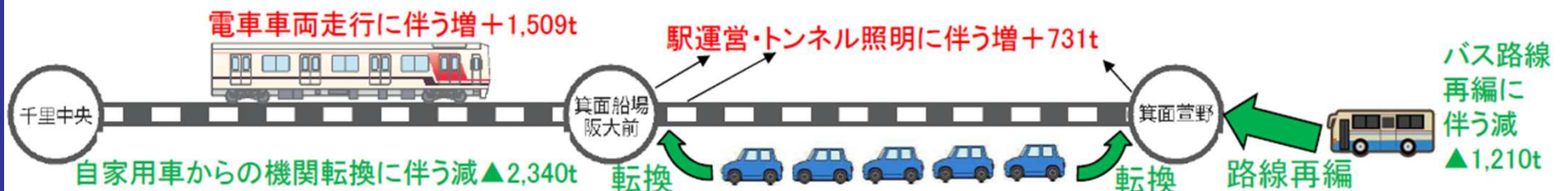


※北大阪急行線延伸推進会議発行「きたきた通信(令和2年7月)」より



- ・北急延伸線開業に伴う社会全体のCO<sub>2</sub>増減を試算した結果、年間約▲1,310t-CO<sub>2</sub>（杉の木約15万本分の年間CO<sub>2</sub>吸収量）を削減できる結果になった。

※林野庁WEBサイトより、スギ人工林1ヘクタール(1000本)が年間約8.8 t-CO<sub>2</sub>を吸収するとして試算



# 大阪梅田地区の概況（当社グループの関連施設）

当社グループの主要賃貸施設 (2022年4月1日時点)

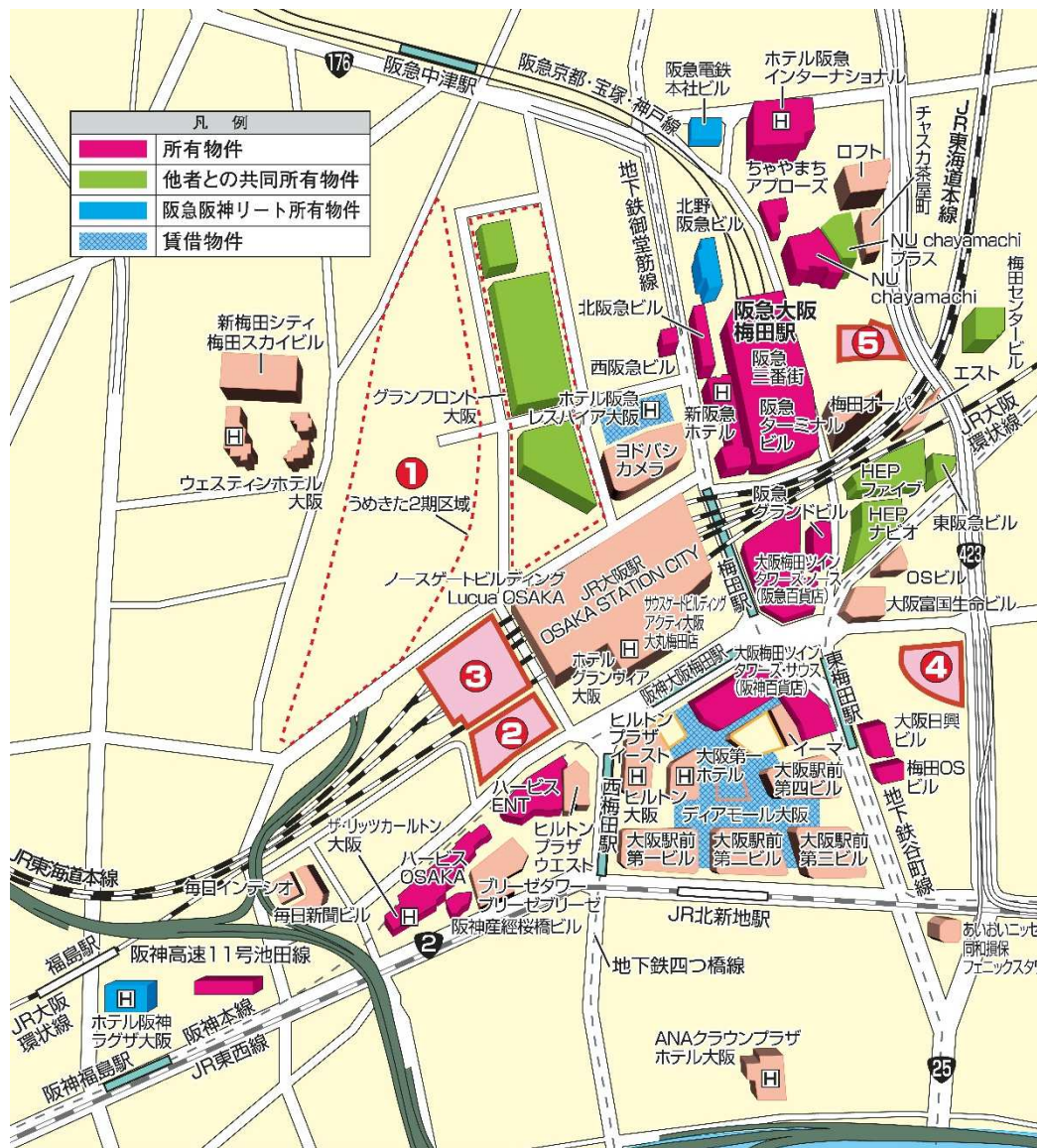
(2022年4月1日時点)

ビル名	賃貸可能面積 ※1	概要	竣工・完成時期
大阪梅田ツインタワーズ・ノース (阪急百貨店・オフィス)	213千㎡	地下2階 地上41階建	2012年11月
大阪梅田ツインタワーズ・サウス (阪神百貨店・オフィス)	194千㎡	地下3階 地上38階建	2022年 2月
梅田阪神第1ビルディング (ハービスOSAKA)	82千㎡	地下5階 地上40階建	1997年 3月
梅田阪神第2ビルディング (ハービスENT)	54千㎡	地下4階 地上28階建	2004年11月
阪急茶屋町ビル (ちゃやまちアプローズ)	52千㎡	地下3階 地上34階建	1992年11月
阪急三番街	38千㎡	地下2階 地上5階建 (一部地下4階建)	1969年11月
阪急グランドビル	36千㎡	地下3階 地上32階建	1977年 8月
阪急ターミナルビル	27千㎡	地下4階 地上18階建	1972年 3月
阪急ファイビル ※2 (HEP ファイブ)	19千㎡	地下3階 地上10階建	1998年11月
ナビオ阪急 (HEP ナビオ)	16千㎡	地下2階 地上10階建	1980年10月
グランフロント大阪 ※3	14千㎡	地下3階 地上38階建	2013年 3月
NU chayamachi	12千㎡	地下2階 地上9階建	2005年10月

- ※1 賃貸可能面積は当社グループ所有分を記載
- ※2 阪急阪神リート投資法人との共同所有物件
- ※3 阪急阪神リート投資法人ほかとの共同所有物件

## 梅田地区周辺での開発動向 赤字 = 当社グループが関与

- ① うめきた2期地区開発事業
- ② 梅田3丁目計画 (仮称) - 日本郵便(株)、大阪ターミナルビル(株)ほか
- ③ (仮称) 大阪駅西北ビル開発事業 - 西日本旅客鉄道(株) ほか
- ④ (仮称) 梅田曽根崎計画 (梅田ガーデン) - 住友不動産(株)
- ⑤ 茶屋町B-2地区複合再開発 - 東急不動産(株)



# 梅田1丁目1番地計画（大阪梅田ツインタワーズ・サウス）①

- 2006年の阪急と阪神の経営統合を象徴する一大プロジェクトとして、2014年10月より取組を推進。今般、本年2月に全体竣工を迎え、3月にオフィス部分が開業し、4月には阪神梅田本店が全館で営業を開始した。
- 4月1日に梅田阪急ビルを「大阪梅田ツインタワーズ・ノース」に改称し、向かい合う両ビルは「大阪梅田ツインタワーズ」として新たにスタート。大阪梅田のシンボルに相応しいビルを目指していく。

## 【概要】

所在地	大阪市北区梅田1丁目1番他
敷地面積	約 12,200m <sup>2</sup> ※1
延床面積	約260,000m <sup>2</sup>
規模	地上38階、地下3階
用途	百貨店、オフィス、ホール等

※1 大阪神ビル・新阪急ビル間の道路を含む。



「DBJ Green Building 認証」  
最高評価（5つ星）取得

## 【建物の外観】

大阪梅田ツインタワーズ・サウス



## 【スケジュール】

2014年10月	I期部分の解体工事着手
2015年7月	I期部分の新築工事着手
2018年4月	I期工事竣工(新阪急ビル・大阪神ビル東側部分)
2018年6月	新百貨店の部分開業 II期部分(大阪神ビル西側部分)の解体工事着手
2019年6月	II期部分の新築工事着手
2021年9月	II期工事の百貨店部分の竣工
2021年10月	II期の百貨店部分で新百貨店の営業を開始※2
2022年2月	全体竣工
2022年3月	オフィス開業
2022年4月	百貨店全館のグランドオープン

※2 グランドオープンに向けた一部工事は継続

# 梅田1丁目1番地計画（大阪梅田ツインタワーズ・サウス）②

## サステナビリティボンドの発行（当社初）

・「環境」と「社会」双方の課題解決に貢献する事業の資金調達手段として、**当社初のサステナビリティボンドを発行**（2021年12月）し、調達資金を梅田1丁目1番地計画に充当した。

・「梅田1丁目1番地計画（大阪梅田ツインタワーズ・サウス）」は、以下の適格プロジェクトに該当している。  
【適格プロジェクト】

- ✓環境に配慮した建物（グリーンビルディング）：外部認証を受けた高い環境性能
- ✓安全・安心のための施設の提供：先進的な制振構造や非常用電源の設置等による防災機能
- ✓周辺公共施設の整備：  
地下・地上・デッキレベルの3層での歩行者ネットワークの構築やバリアフリー化による快適性・利便性の向上及び周辺地域の活性化

発行総額	100億円
発行年限	5年
利率	年0.100%
発行時期	2021年12月
取得格付	AA-(JCR)、A+(R&I)
資金使途	<b>梅田1丁目1番地計画</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大阪梅田ツインタワーズ・サウス」の建設資金</li> <li>・周辺公共施設の整備に係る建設資金</li> </ul>

・サステナビリティボンドの発行にあたり、国際資本市場協会（ICMA）が定めるサステナビリティボンド・ガイドライン等に基づいたフレームワークを策定し、R&Iのセカンドオピニオンを取得している。



外観



カフェ（ワーカー専用）



フィットネス（ワーカー専用）

同ビルは2022年4月に「DBJ Green Building認証」で最高評価（5つ星）を取得※。さらに、同年4月から、共用部とオフィス専有部の電力を再エネ由来100%で運営している。

※2016年にプランニングへの認証で5つ星を取得しているが、竣工を機に改めて申請を行い、5つ星を取得したものの。





# マンション分譲事業を通じた取組

## 分譲マンション〈ジオ〉における 高い環境性能を備えた快適な住まいづくり

「geo fit+（ジオフィットプラス）」は、ご入居者様をはじめとした多くのお客様の声を集め検証し、より快適な住まいを生み出すPDCA 型の商品企画プロジェクトで、2008年より実施してきた。その取組の一環として、LOW-E 複層ガラスやLED 照明をいち早く標準装備化してきたことに加え、入居家庭から出る使用済み天ぷら油をバイオディーゼルバスの燃料として再利用する仕組みを構築するなど、環境に配慮した住まいづくりにも積極的に取り組んできた。



## 分譲マンション〈ジオ〉・ 賃貸マンション〈ジオエント〉の ZEH 対応

阪急阪神不動産は、脱炭素等のSDGsの取組を強化するため、2024年度以降に販売・賃貸の募集を開始する新築分譲マンション※1・新築賃貸マンション※1については、全て「ZEH-M Oriented ※2」以上にする。



ジオ彩都いろどりの丘

(1工区は ZEH-M Oriented、2工区はZEH-M Ready※3)

- ※1 他社との共同事業など一部の物件を除く。
- ※2 共用部を含むマンション全体の一次エネルギー消費量を20%以上削減（2016年の省エネ基準で定められた「暖房」「冷房」「換気」「照明」「給湯」の基準一次エネルギー消費量との比較）したマンション
- ※3 共用部を含むマンション全体の一次エネルギー消費量を50%以上削減（2016年の省エネ基準で定められた「暖房」「冷房」「換気」「照明」「給湯」の基準一次エネルギー消費量との比較）したマンション

# スポーツ事業を通じた取組

## 阪神甲子園球場の環境配慮の取組 〔「KOSHIEEN “eco” Challenge」宣言〕

・阪神甲子園球場では、これまでも銀傘への太陽光発電の設置、井戸水・雨水の利用、プラスチックカップのリサイクル推進等に取り組んできたが、2021年の「KOSHIEEN “eco” Challenge」では、オフィシャルエコアドバイザー/エコパートナーの企業・ご来場いただいたお客様と協働して、「環境にやさしい球場」を目指した取組をさらに推進していくことを宣言した。



### ●太陽光発電

内野スタンド全体を覆う「銀傘」の上に太陽光発電設備を設置し、2010年3月から稼働

発電電力量：

年間約193,000kwh  
(阪神甲子園球場のプロ野球開催日にナイター照明で消費される年間の電力量の約2倍に相当)



### ●プラカップリサイクル

帝人フロンティア(株)と共同で、生ビールなどの販売に使用するプラカップをリサイクル



## 尼崎市・阪神電気鉄道の共同提案が 環境省「第1回脱炭素先行地域※」に選定

「阪神大物地域ゼロカーボンベースボールパーク整備計画  
～地域課題解決型！官民連携事業～」

- ・尼崎市南部大物地域の小田南公園に移転する阪神タイガースファーム施設を、タイガース野球場・室内練習場に太陽光発電・蓄電池を導入し、不足電力は、市のクリーンセンターの廃棄物発電の余剰電力を活用し脱炭素化
- ・省エネを徹底するとともに（選手寮兼クラブハウスとともにZEB Readyを目指す）、小田南公園内各施設や近隣の公園に電力融通
- ・近隣の阪神6駅を、太陽光発電設備導入、再エネ電力調達により脱炭素化
- ・「ゼロカーボンベースボールパーク」として脱炭素の取組を周知
- ・阪神バスにEVバスを導入など



先行地域の整備後完成イメージ

(※脱炭素先行地域：民生部門の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても、我が国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域)

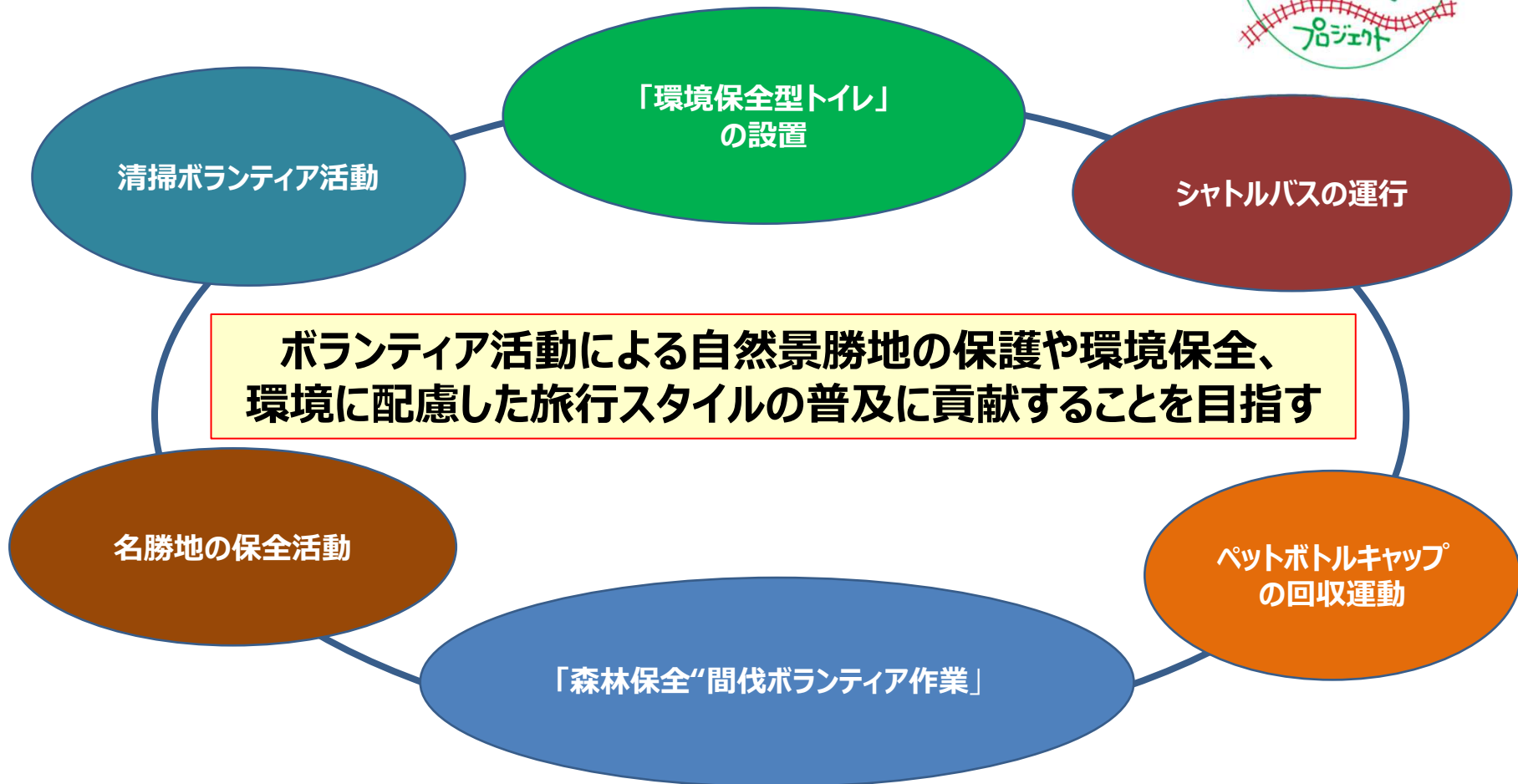
# 阪急交通社の取組



「未来へつながる暮らしの提案」



「環境保全の推進」



# 自然環境・生物多様性の保全につながる取組



## 「環境保全型トイレ」バイオトイレの寄贈 (共同設置も含め全国7ヶ所へ寄贈設置)

### ー北海道内3か所に寄贈設置ー

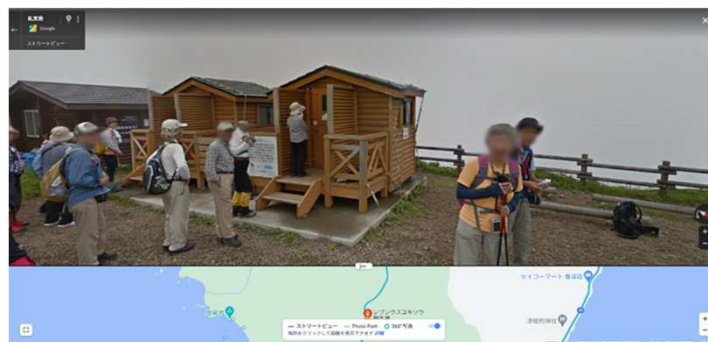
2010年7月 北海道斜里郡斜里町・ウトロオロンコ岩散策路駐車場内

2011年6月 北海道礼文郡礼文町 礼文林道内に設置 (2台)

2019年11月 北海道釧路市  
一周約2.5キロの釧路湿原展望台入り口から徒歩約20分の  
中間地点に位置するサテライト展望台に設置



北海道斜里郡斜里町  
ウトロオロンコ岩散策路駐車場内



北海道礼文郡礼文町 礼文林道内



北海道釧路市 釧路湿原サテライト展望台

バイオトイレは上下水道を必要とせず、  
おがくずの中の微生物の力で排泄物を分解

**水を使わない = CO2 の発生を削減！**

水道排水量1m<sup>3</sup> (=1000L) あたりのCO2排出量=235g  
 ※2021年度実績値 (水道事業ガイドライン、東京都水道局)

	利用回数 (年間平均)	節水量 (年間)	CO2削減 (年間)
釧路湿原	2200回	10560L	2481g
礼文島	2464回	11831L	2780 g
知床	19213回	92223L	21672 g



※礼文島・知床は来訪者数の3割がバイオトイレを使用したと想定した場合  
 ※トイレ1回につき4.8リットルの水を使用すると想定した場合

# 自然環境・生物多様性の保全につながる取組



## 「清掃ボランティア活動」 関東・中部・関西・九州 4地区で実施

地域の環境保全と各地景勝地で気持ちよく観光していただけるよう、“清掃活動”を2011年から関東・中部・関西・九州の各拠点ごとにグループ従業員のボランティアにより実施。（2018年～一部地域で一般のお客様も参加）



- ＜関東＞ 静岡県富士山 ～ポイ捨てゴミ・不法投棄ゴミ拾い等～
- ＜中部＞ 静岡県三保松原 ～松林の保全等～
- ＜関西＞ 京都府天橋立 ～松林の保全等～  
徳島県霊山寺（四国八十八箇所第一番札所）～清掃等～  
京都府嵐山 ～渡月橋欄干の清掃・ゴミ拾い等～
- ＜九州＞ 熊本県南阿蘇鉄道 ～全線復興に向け軌道内の除草等～ など



京都府・嵐山の清掃活動では感染症の影響を受けて観光客の集客に苦しむ嵐山活性化の一助にもなるよう、清掃活動の後には嵐山で利用できるグルメクーポンの配布や人力車に乗車できるオプションツアーも行い、美しくなった嵐山を堪能。普段接することのないグループ従業員同士のつながり、観光地の自治体などとの関係を深める機会にもなっている。

これからも地域との結びつきを深めることにも力を入れて、美しい観光地を次世代に残していく活動として、継続していく。



# 自然環境・生物多様性の保全につながる取組

11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



17 パートナースHIPで 目標を達成しよう



さんけいみちみちぶしん

## 「世界遺産 高野山参詣道道普請活動」を実施

高野山への主要な参詣道として利用され、「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されている「高野山町石道・女人道」の維持・修復活動（土入れ作業など）を従業員がボランティアとして2014年より実施。（2018年からは一般のお客様も参加）

道普請作業の後には、豊かな緑に包まれた3町程の道のりを語り部の案内で歩く「町石道ウォーク」や地元名物の食事を堪能するなど、自然や歴史、グルメに至るまで地域の魅力を満喫しながら社会課題について考えを深めることができる、阪急交通社ならではの社会貢献活動となっている。




# 自然環境・生物多様性の保全につながる取組



## 「森林保全“間伐ボランティア作業” 関東・中部・関西・九州 4地区で実施

水を守り、CO2を削減する役割を担う森林の保全に必要な“間伐作業”をグループ従業員のボランティアにより実施。

2008年山梨県・小菅村に始まり、兵庫県・篠山、愛知県・岩屋堂、福岡県・八女・四王子などでこれまで約644名の従業員が参加。



「森を守る休日」

日本の森では適度に木を間引く間伐により、木が元気に育ち、樹間から差し込む光が、低木や下草を育み、土砂崩れや洪水を防いできました。しかし近年、森が放置されてこの様な森と人との関係が消えつつあります。阪急交通社は、豊かな森を取り戻すために、地域と協力してグループ従業員による継続的な間伐のボランティア活動を行っています。

株式会社 株式会社阪急交通社

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
〒460-0001 愛知県名古屋市中区栄1-1-1  
〒760-0001 兵庫県神戸市中央区東川崎町1-1-1



## 渋滞を緩和・CO2排出量の削減を図る シャトルバスの運行

### <2022年秋・2023年正月 大阪府箕面市 勝尾寺シャトルバスの運行>

紅葉や初詣でにぎわう時期は、勝尾寺へ向かう山道で大渋滞が発生することから、混雑緩和とCO2排出量の削減を図るため、シャトルバスを阪急交通社が運行。

#### ◆運行ルート◆

##### 【紅葉シャトルバス】

キューズモール⇒ <グリーンロード> ⇒ 勝尾寺⇒ <府道4号線> ⇒ キューズモール

##### 【新春シャトルバス】

千里阪急ホテル⇒ <グリーンロード> ⇒ 勝尾寺⇒ <府道4号線> ⇒ キューズモール  
⇒ <新御堂筋> ⇒ 千里阪急ホテル

2022年秋 **863名**  
2023年正月 **613名**

がシャトルバスを利用し、勝尾寺へ



**乗用車 約342台分の  
CO2を削減**

※車1台につき3名が乗車したと想定

2023  
この正月、**私**は渋滞知らず  
勝尾寺初詣直行シャトルバス  
往路:千里阪急ホテル-勝尾寺  
復路:勝尾寺-みのおキューズモール-千里阪急ホテル



今日は特別ルートを通るシャトルバスにより渋滞なしで勝尾寺に!

2022 この秋、**私**は渋滞知らず  
勝尾寺紅葉シャトルバス  
みのおキューズモール⇄勝尾寺

ラクラク勝尾寺へ!!

乗車料 大人・小中学生/おひとり様料金 **1,500円** (現金のみ)  
乗入はコチラから

乗車料 大人・小中学生/おひとり様料金 **1,995円** (現金のみ)  
特別料はみのおキューズモール内  
L2Fアトリウムに限定して  
乗車料(乗車) 8:15~19:00

みのおキューズモール限定  
スペシャルクーポン  
L2Fアトリウムと  
勝尾寺のクラフト店  
「勝ちグミ」付!!

乗車料 勝尾寺入山券と  
L2Fアトリウムと  
勝尾寺のクラフト店  
「勝ちグミ」付!!

運行日 11/12, 13, 19, 20, 23, 26, 27  
12/3, 4  
8:00~  
20:30  
(最終乗車 20:00)

約40分程度! 1時間間隔でシャトルバス運行!!

みのお  
キューズモール  
勝尾寺

全席・主催: 阪急交通社

# 廃棄物を低減した循環型社会の実現につながる活動



## 「ワクチンで助かるちいさな命を救いたい」 「CO2削減」ペットボトルキャップ回収活動を実施

グループ全従業員が身近に活動に参加できる  
「ペットボトルキャップ」の回収運動を全職場で実施。

阪急交通社は2009年より開始

キャップの売却によりその代金をNPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）」へ寄付。

回収したキャップはボールペンなどの商品に再利用され、プラスチックごみとCO2の削減に貢献。

エコキャップを430個燃やすと3.15KgのCO2が発生する。  
エコキャップを燃やさずに再資源化することで、かなりのCO2を削減できる。  
NPO法人エコキャップ推進協会 ホームページより

